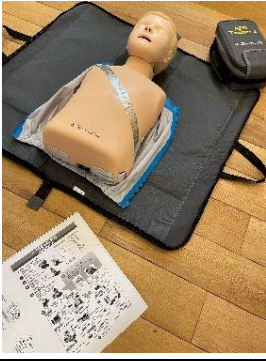



2022 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2022 年度分)

<p>団体名</p>	<p>社会福祉法人西成若草会 浪速さくら保育園</p>	
		
		
<p>当法人の保育園では、産休明け（生後 57 日）からの保育を行っています。乳児の突然死症候群をはじめとする、乳幼児の生命を脅かす事態は予防が基本ですが、万が一そのような事態に陥った時にいかに迅速かつ的確に対応できるかが重要です。</p> <p>全職員が救命処置の訓練を繰り返し行うことで、いざという時に行動できるように、また訓練器やアプリ（Q C P R T r a i n i n g）を用いることで実際の力加減やテンポを身につけることを目的として 2022 年 4 月から 7 月にかけて 2カ所の保育園で職員向けに訓練活動を行いました。</p> <p>今までは玩具の人形を用いて訓練を行っていたので、力加減が不安との意見が毎回出ていましたが今回訓練用の人形で胸骨圧迫を行い、かなり力を使う事や救急車が到着するまで 1 人で有効な胸骨圧迫を行うことは難しいと実感することができたとの感想が多くありました。そのため訓練中の胸骨圧迫の交代の際は、自発的に交代を申し出る職員が多く、スムーズに交代が行えました。また、これまで A E D の使用訓練は保証期間の過ぎた A E D のバッテリーを外したものを利用していましたが、今回 A E D 訓練器を用いることで、音声や作動を体験することで訓練中も緊張感がありました。その中で、オートショック A E D など A E D 機器の仕様についても周知することができ、生活の中で A E D を設置している施設やその設置場所を確認することが少し習慣になったという感想もありました。</p>		